



町の復興 私たちが

津波で大きな被害を受けた宮城県女川町で25日、被災後の町の立体模型が公開された一写真、竹谷俊之撮影。大きさは畳3枚分。航空写真をプラスチック板に張り付け、等高線

に合わせて何枚も重ねた。東京の建築家鯨井勇さん(62)が企画し、市民団体「ウーマンズフォーラム魚」(東京)などが協力して1カ月がかりで完成した。地元の水産会社社長は「町づくりのイメージがわいてくる」と目を輝かせた。